LG
Life's Good

取扱説明書

ふとんパンチクリーナー

このたびは LG Electronics 製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

VH9201DS
VH9201D

MFL67782612

www.lg.com/jp

目次

安全上のご注意 **3**

各部のなまえ **6**

ふとんパンチクリーナー 6

UV 除菌ステーション（VH9201DS のみ） 6

電源を入れる **7**

除菌をする（VH9201DS のみ） **8**

寝具に合わせたお掃除 **9**

吸込口のお手入れ **10**

ゴミを捨てる **11**

ダストボックスのお手入れ **12**

ダストフィルターのお手入れ **13**

故障かな？と思ったら **14**

主な仕様 **15**

付属品 **15**

安全上のご注意

クリーナー使用中の火災、感電、けが、または損傷を防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この注意事項では、発生する可能性のある条件をすべて記載しているわけではありません。ご不明な内容につきましては、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。本クリーナーは以下の EC 指令に準拠しています。：2006/95/EC 低電圧指令 -2004/108/EC EMC 指令

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

⚠ 警告

- **毛布、マットレス、枕などの寝具や布張りソファにのみ使用してください。**
  本クリーナーで、建設廃材のホコリやセメントなどを吸い取らないでください。
  革張り製品の表面には使用しないでください。
  火災や修復不可能な損傷の原因となります。
- **本クリーナーは、通常の屋内における家庭用として設計されています。オフィスや商業的用途には使用しないでください。**
- **分解や改造は絶対に行わないでください。**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **ガソリンや溶剤などの可燃性物質、洗剤や入浴用品などの界面活性剤または飲み物をクリーナー及びその UV 除菌ステーションの近くで噴射しないでください。**
  爆発や火災の原因になります。
- **電源コードを破損させたり、よじれたり、重いもので切断されないように注意してください。**
  損傷したコードや電源プラグを使用すると、火災や感電の原因になります。破損した電源コードの使用は危険ですので、必ずカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- **水などの液体が製品に入らないようにしてください。本クリーナーを使用して液体、鋭くとがった物、または発熱したもの、火気を帯びたものを吸い取らないでください。**
  火災や感電の原因となります。
  誤って水が本クリーナーに入った場合は、危険を避けるためにすぐに本体の電源をオフにして、カスタマーサポートセンターに連絡してください。
- **電源投入時に漏電遮断器（ブレーカー）が動作した場合は、直ちに使用を中止し、カスタマーサポートセンターに連絡してください。**
  感電の原因となります。
- **本体または UV 除菌ステーションの中や、その周辺にピンや鋭い先のとがったものを挿入しないでください。**
  感電の危険があります。

安全上のご注意

⚠ 警告

- **ガス漏れが発生した場合、本クリーナーを使用しないでください。危険を回避するために本クリーナーの電源プラグを抜き、換気を行ってください。**
  火災や爆発の危険があります。
- **同じコンセントに他の製品を接続しているときは、電流値の合計が 15A を超えないようにしてください。**
  コンセントの過負荷は火災や製品の故障の原因となります。
- **電源コードや電源プラグが緩んでいたり、破損したりしている場合は、本クリーナーを使用しないでください。**
  火災や感電の原因になります。
- **吸込口または排気口を塞いだ状態で本クリーナーを操作しないでください。**
  過熱により本体の変形や火災を引き起こす原因になります。
- **ダストボックスを取り出したままクリーナーを操作しないでください。**
  製品の破損や感電の危険があります。
- **電源コード及び製品を暖房機器の近くに置かないでください。**
  本体の変形、故障、または火災の原因になります。
- **コンセントから電源プラグを抜く際は、差し込みプラグを持って抜いてください。**
  感電の可能性があります。
- **お子様や、お体の不自由な方がご使用になる場合は、製品をよく理解した大人がそばに付き添って、誤った使用をさせないように使用させてください。**
  誤った使い方は、けがや本クリーナーの破損を引き起こす可能性があります。
- **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**
  感電の原因となります。
- **水で底板を洗浄した直後に本クリーナーを使用しないでください。必ず、乾燥させてから使用してください。**
  感電や故障の原因となります。
- **本体のお手入れをするときは、電源プラグを抜いてください。また、きめの荒い研磨剤を使用して洗わないでください。**
  感電及び外面の損傷を引き起こす可能性があります。
- **本クリーナーの動作中に吸込口の吸引部に手を触れないでください。けがを防ぐために本クリーナーの動作を停止させてからプラグを抜いてください。**
- **水や洗剤で吸込口やクリーナーの底面を洗浄しないでください。お手入れのときは、湿らせた布を使用してください。**
  製品の破損や感電の原因となります。
- **除菌中、UV 光を直視しないでください。**
  目や肌に害を与える場合があり、赤い斑点のような皮膚の病気を引き起こす可能性があります。このような症状が発生した場合は、お近くの医師に相談してください。
- **電源コードが損傷したときは、使用を中止して、カスタマーサポートセンターにご相談ください。**
- **多量の工業用油ガスや金属微粒子の影響を受ける場所で使用しないでください。**
  火災や製品故障の原因となります。
- **可燃性ガス漏れやその可能性がある場所で使用しないでください。**
  火災や爆発の原因になります。
- **製品を熱や火にさらさないでください。**
  製品を直接日光にさらさないでください。
  火災及び爆発の危険があります。
- **定格電圧以外で本クリーナーを使用しないでください。**
  火災や修復不可能な損傷を引き起こす原因になります。

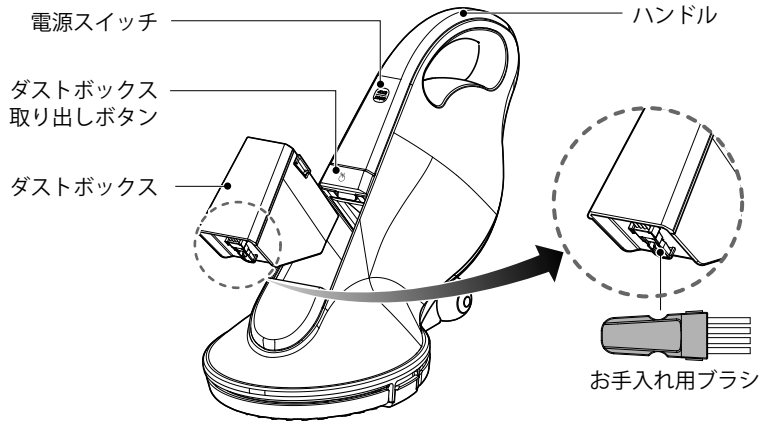
安全上のご注意

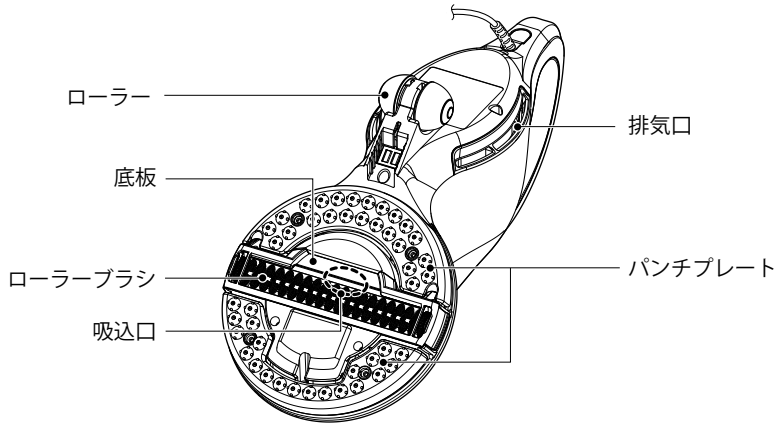
⚠ 注意

- **製品を長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。**
- **本クリーナーを使用中、本体に静電気が発生する場合があります。**
  静電エネルギーによりクリーナーが誤動作する場合があります。その場合には、電源プラグをコンセントから一旦抜いて、再度差し込んでください。
- **靴下、ストッキング、ティッシュなど大きな物は、掃除中にダストボックスを塞ぐことがあります。掃除を開始する前に、それらを片付けてから使用してください。**
  本クリーナーは、ホコリを除去するためにのみ使用してください。
- **本クリーナー以外、UV 除菌ステーションの上に何も置かないでください。**
  UV 除菌ステーションの近くに磁石や動作している電気機械器具があると、誤動作を引き起こす可能性があります。
- **長時間、1 か所で集中的に使用したり、繰り返し同じ場所で使用したりしないでください。**
  表面は摩擦や振動によって破損する場合があります。
- **本クリーナーが動作中に手や足で底面に触れないでください。**
- **ダストボックス及びそのカバーをはずした状態で本クリーナーを操作しないでください。ダストボックスの中のホコリなどが MAX（最大）の線に達したとき、または達する前にダストボックスを空にしてください。**
  ダストボックスがいっぱいになったまま、連続的に使用すると、故障及び過熱の原因となります。
- **火災や感電の危険を避けるため、電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグを掴んで抜いてください。電源コードを引っ張って抜かないでください。**
- **本体の底面に異物が付着している場合は、製品を使用する前に除去してください。**
  吸引モーターの機能を低下させ、誤動作や損傷を引き起こす原因になります。
- **ふとんの掃除中は必ず底板をふとんに密着させてお掃除してください。硬いもの、または床では本クリーナーを使用しないでください。お掃除を行ったところや本クリーナーの損傷の原因になります。**
- **本クリーナーまたは UV 除菌ステーションを屋外で保管しないでください。**
- **本クリーナーは水平な場所で使用し、本クリーナーに強い力を加えないでください。**
  火災や製品故障の原因となります。

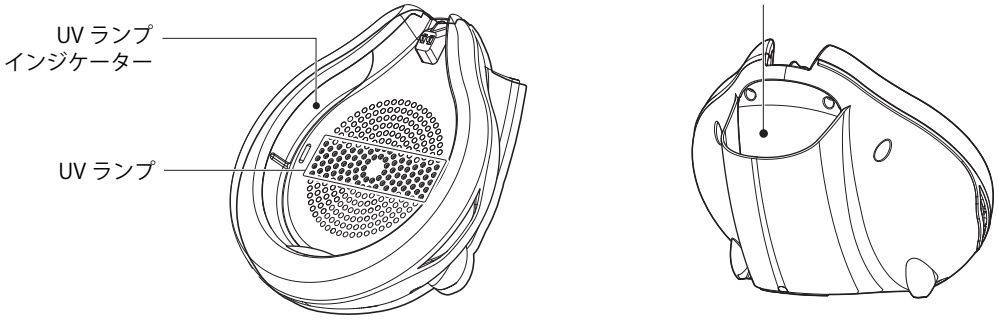
各部のなまえ

ふとんパンチクリーナー



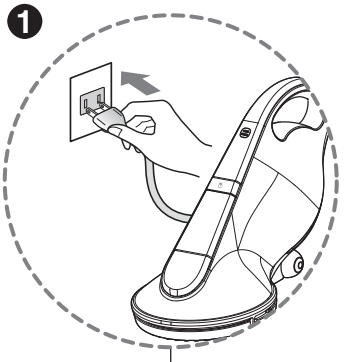


UV 除菌ステーション（VH9201DS のみ）



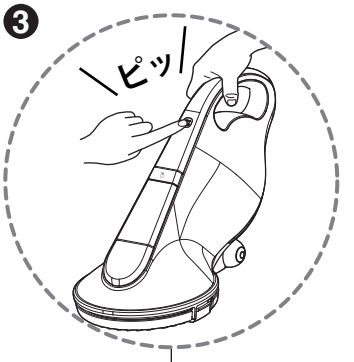
電源を入れる

❶



❷

❸



❶ 電源コンセントに電源プラグを差し込みます。

・クリーナーがスタンバイモードに入ったことを知らせるチャイム音が鳴ります。

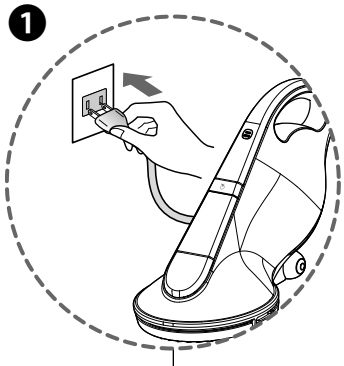
❷ 電源を入れます。

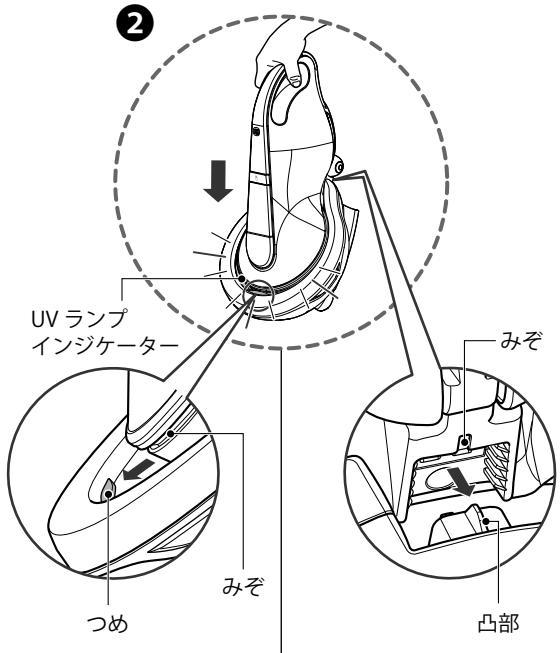
・電源スイッチをタッチすると、「ピッ」という音が鳴り、クリーナーが起動します。起動中はインジケーターランプが点灯します。

❸ 電源を切ります。

・クリーナーが動いている状態で、電源スイッチをタッチすると、「ピッ」という音が鳴り、クリーナーの電源が切れます。電源が切れるとインジケーターランプが消灯します。

除菌をする（VH9201DS のみ）





❶電源コンセントに電源プラグを差し込みます。

❷クリーナーのパンチプレートのみぞを、UV 除菌ステーションのつめに合わせてはめ込み、クリーナーの底面にあるみぞを、UV 除菌ステーションの凸部にはめ込みます。

UV ランプが点灯し、除菌を開始します。UV ランプの点灯は、UV ランプインジケーターで確認します。

UV 除菌ステーションにクリーナーをセットしてから 5 分経過すると、UV ランプが自動的に消灯し、除菌が終了します。
UV ランプインジケーターで、UV ランプの消灯を確認してください。

寝具に合わせたお掃除

マットレス、ベッドカバー

マットレス、ベッドカバー、敷きぶとん

・半分ずつ、端からジグザグにクリーナーをかけます。

枕、クッションなど

大型クッション、通常のクッション、枕

・長辺に沿ってまっすぐにクリーナーをかけます。

カバー、毛布など

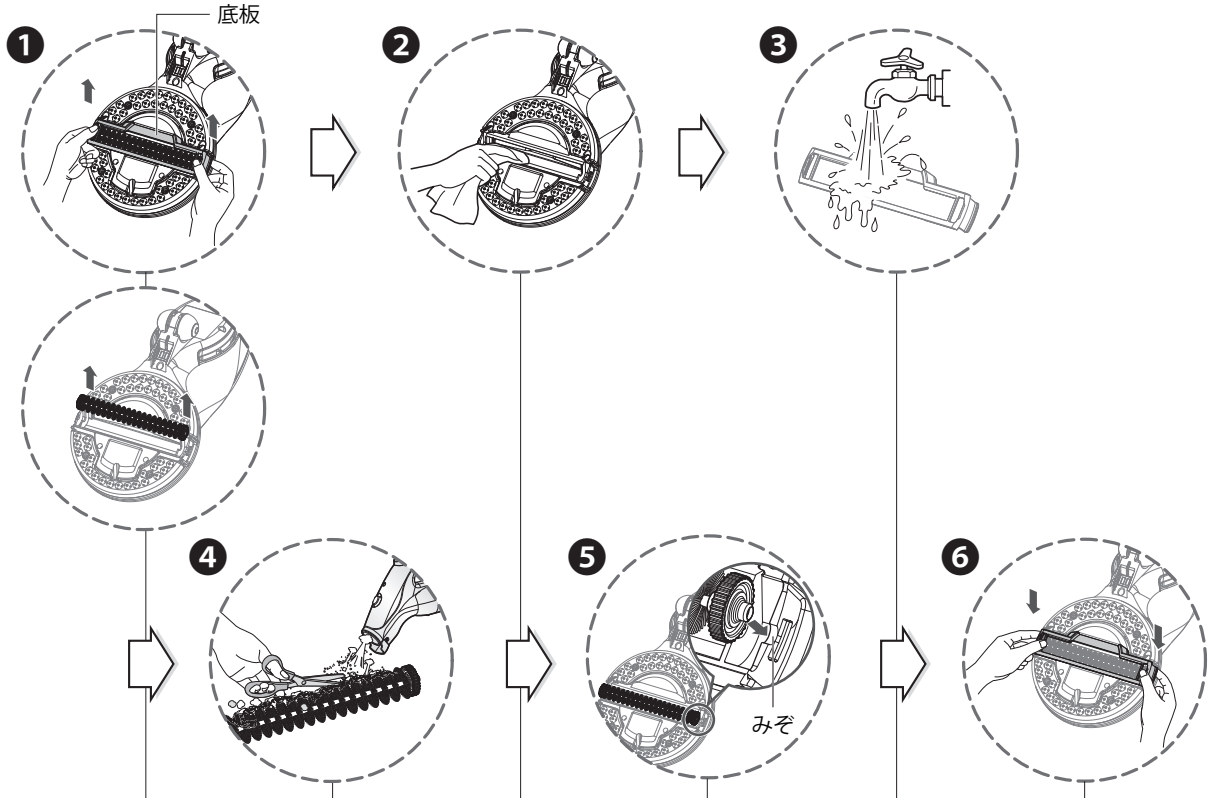
掛けぶとん、薄いカバー、毛布

・短辺に沿って、前後に動かしながらクリーナーをかけます。

⚠ 注意

快適にお掃除ができるように、本クリーナーは一般的なハンディタイプの製品に比べて、本体質量を重めに設計しています。そのため、クリーナーをかける際に本体を強く上から押しつける必要はありません。
強く上から押しつけ過ぎると、寝具に損傷を与える原因になります。

吸込口のお手入れ



❶コンセントから電源プラグを抜き、床にやわらかい布を敷いて、クリーナーを裏返しに置きます。

異物がないことを確認し、底板の左右を引き上げてローラーブラシと底板をはずします。

❷湿らせた布でクリーナーの吸込口付近を拭きます。

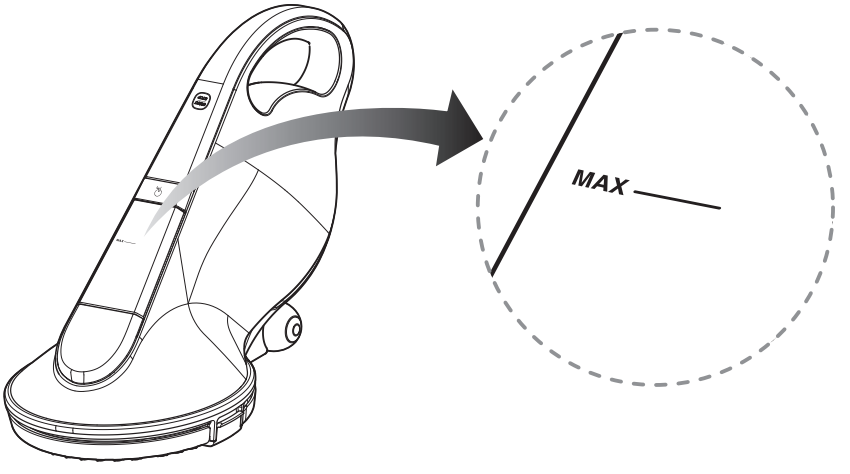
❸はずした底板を水洗いして乾いた布で拭きます。その後、日陰で完全に乾かします。
本体またはローラーブラシは水洗いしないでください。

❹掃除機やハサミなどで、ローラーブラシを掃除します。

❺ローラーブラシの両側をみぞに合わせ、クリーナーにセットします。

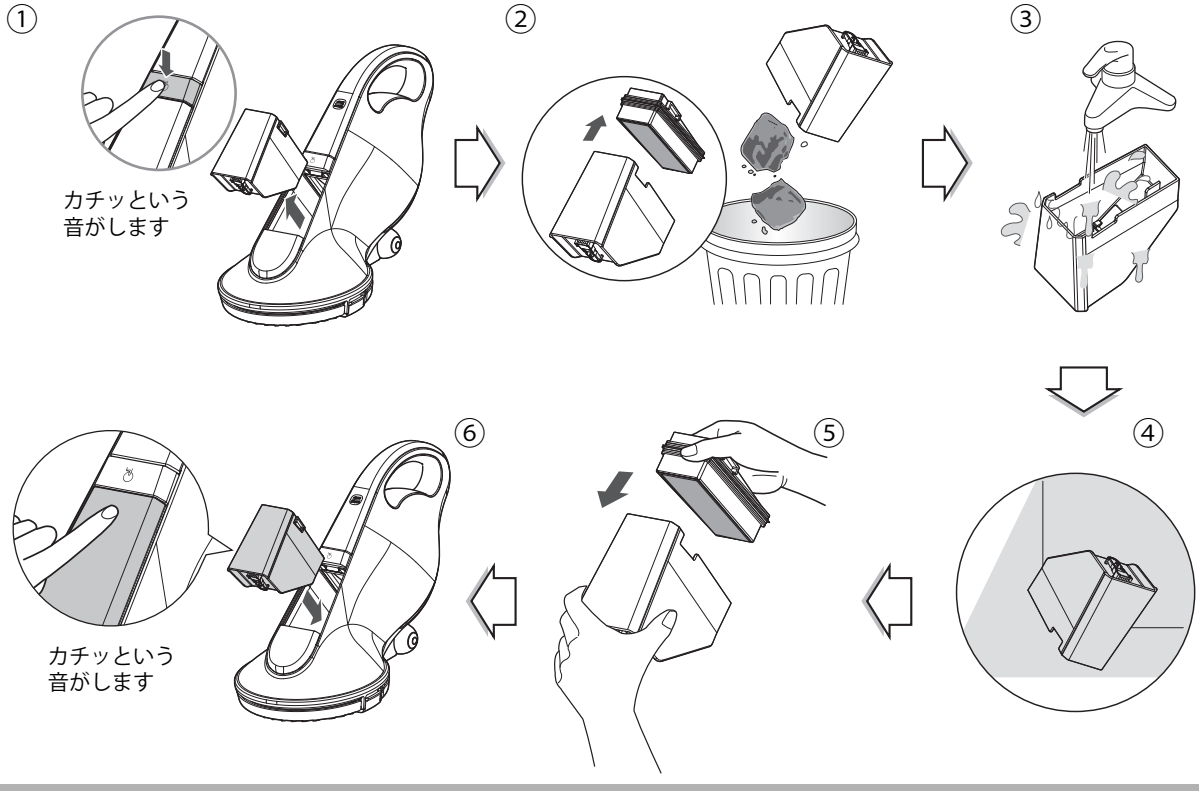
❻底板の位置を本体に合わせ、底板の両側を押してはめ込みます。

ゴミを捨てる



MAX（最大） ―― お掃除を始める前に、ダストボックスがいっぱいになっていないかを確認してください。お掃除が終わったときや、ダストボックスの中が MAX（最大）の線に達したときは、ダストボックスを空にしてください（次ページ参照）。

ダストボックスのお手入れ



① ダストボックス取り出しボタンを押し、本体からダストボックスを取り外します。

② ダストフィルター（スポンジフィルター＋HEPA フィルター）をはずして、ホコリを捨てます。

③ ダストボックスからダストフィルターをはずしたまま、ダストボックスを水洗いします。
スポンジフィルターのクリーニングが必要な場合は、13ページを参照してください。

④ 通気性のいい日陰に干し、完全に乾かしてください。

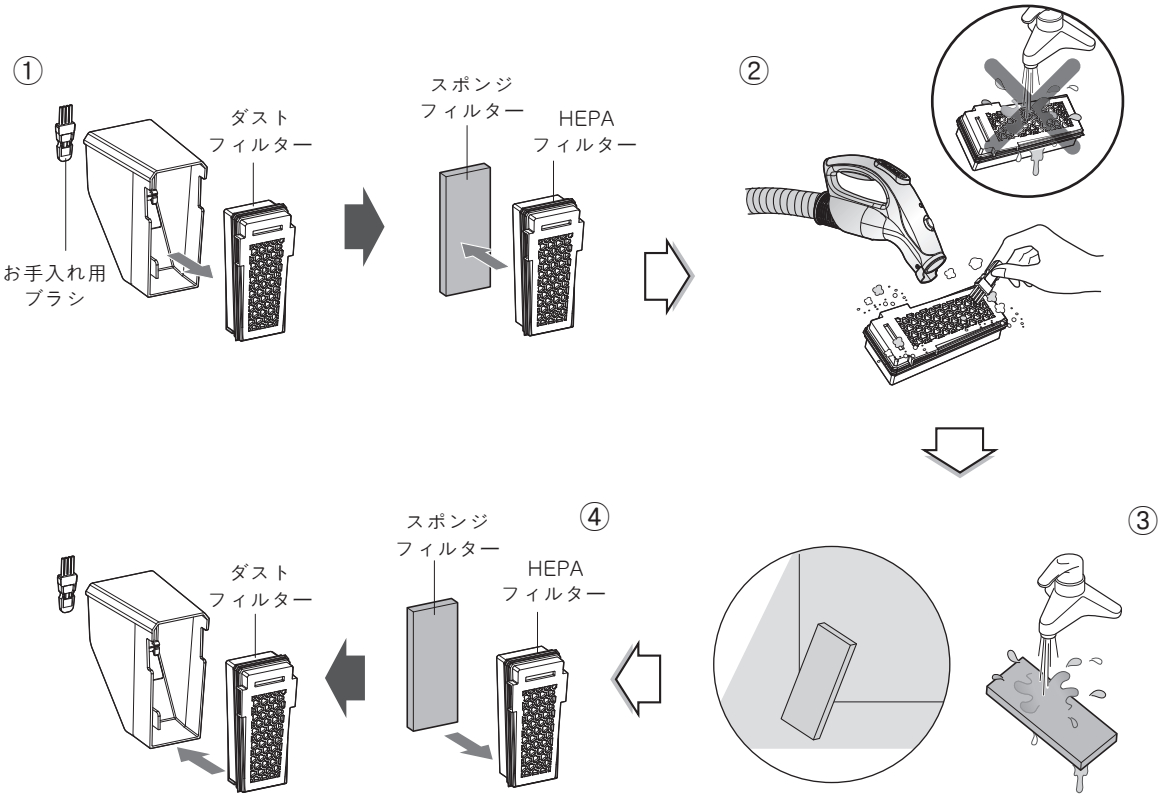
⑤ ダストフィルターにスポンジフィルターを付けて、ダストボックスにはめます。

⑥ 本体にダストボックスをセットします。
ダストボックスが正しくセットされていない場合は、吸引力が低下します。

⚠ 注意

再度使用する前に、必ずダストフィルターをダストボックスにはめてください。
ダストフィルターがはまっていない場合、本クリーナーの誤作動や損傷の原因となります。

ダストフィルターのお手入れ



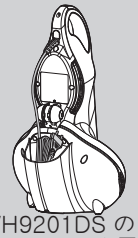
① ダストボックスからダストフィルターをはずし、上□のように、HEPA フィルターからスポンジフィルターを取りはずします。

② 付□のお手入れ用ブラシと掃除機を使用して HEPA フィルター全体を掃除します。

③ スポンジフィルターを水洗いし、通□性のいい日陰に干し、完全に乾かしてください。

④ ダストフィルターをセットするときは、逆の手順で行います。

使用後、次のようにクリーナーを保管してください。



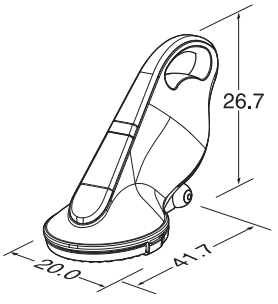
(VH9201DS のみ)
UV 除菌ステーションに本クリーナーを置き、ステーションの背面側のコード□納ポケットに電源コードを□納します。

故障かな？と思ったら

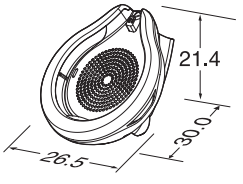
故障かな？と思われたら、お問い合わせされる前に、下記のことを一度お確かめください。
それでも同じ症状が出ている場合には、ご自分では絶対に修理せず、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。カスタマーサポートセンターについてのご案内は、裏表紙をご覧ください。

このようなときは	ここをお調べください
吸引が弱い、吸引しない、または振動音がする	・吸込口またはダストボックスが異物やゴミで塞がれて吸引力が低下しているかどうかを確認します。 ・ダストボックスを本体からはずし、フィルターが汚れていないか確認します。
クリーナーがまったく動作しない	・電源が入っているか確認します。 ・コンセントに他の製品を挿入して、コンセントが通電しているかどうかをチェックします。 ・この取扱説明書の記述に従って正しく操作しているかどうかを確認してください。
突然停止する	・本クリーナーは、吸込モーター過熱防止装置が搭載されており、次のような状況が発生したとき、一時的に停止することがあります。 – ダストボックスがホコリやゴミでいっぱいになり、フィルターが目詰まりしている状態で、本クリーナーを使用した場合 – 吸込口がブロックされた状態で使用している場合 – 本クリーナーを過度に長時間使用した場合 ・電源スイッチに誤って触れた。
クリーナーからヒューヒューという大きい音がする	・モーターの高速回転ブラシとノズルの先端のパンチ音です。故障ではありません。 ・ダストボックスが正しくセットされていない場合、ノイズが発生することがあります。 正しくダストボックスをセットしてください。
クリーナーから臭いがする	・本クリーナーを一定期間使用していると、クリーナーから臭いがする場合があります。クリーナーが動作する場合は故障ではありません。 ・また、臭いはダストボックス内の古いホコリや、一定期間洗浄されていないダストフィルターが原因で発生することがあります。クリーナーを再度使用する前に、ダストボックスを空にして、ダストボックスとダストフィルターのお手入れをしてください。
熱風が発生し、本体が熱くなる	・空気はモーターを冷却した後に排出されるので、排気口から出てくる空気は少し熱くなりますが、故障ではありません。
UV 除菌ステーションが動作しない	・本体の電源コードがコンセントに接続されているか確認してください。 ・本体が UV 除菌ステーションに正しくセットされているかどうかを確認してください。
振動するだけで、吸引しない	・吸込モーター過熱防止装置があるため、1）ダストボックスがいっぱいのとき、2）ダストフィルターまたは吸込口が塞がれているとき、3）長時間使用したときに発生することがあります。いったん使用をやめ、40 分以上経ってから再度使用してください。 – 再使用の前に、ダストフィルターとダストボックスをお手入れしてください。 – 吸込口が塞がれている場合は、異物を取り除いてください。
電源コードが破損した	・電源ケーブルに問題がある場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

主な仕様



項　目 / 型　番	本体（VH9201DS/VH9201D）
外　形　寸　法	20.0cm（幅）× 41.7cm（奥行）× 26.7cm（高さ）
本　体　質　量	2.1kg
電源コードの長さ	5m
ダストボックスの容量	0.2ℓ
定　格　電　圧	AC100V、50/60Hz
定格消費電力	180W
吸　込　仕　事　率	33W



項　目 / 型　番	UV 除菌ステーション（VH9201DS のみ）
外　形　寸　法	26.5cm（幅）× 30.0cm（奥行）× 21.4cm（高さ）
本　体　質　量	0.7kg
定格消費電力	15W

付属品

- 交換用スポンジフィルター
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan（株）カスタマーサポートセンター

0120-813-023
（フリ - ダイヤル）

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は TEL：03-5675-7323までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間　平日　　：9：00～20：00（年末年始など当社指定日を除く）
土日・祝祭日：9：00～18：00

修理に関するご案内

取扱説明書を再確認していただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、当社カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

■ 保証期間中
保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時
修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容
・ご住所、お名前、電話番号
・製品名、モデル名、製造番号
・お買い上げ日、ご購入店名
・故障の状況
　できるだけ具体的に

■ 保証書（別添）について
ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。製造番号は安全確保上重要なものです。商品本体の製造番号と保証書記載の製造番号が一致しているかお確かめください。保証期間は保証書に記載されています。

■ 部品について
本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後６年間です。修理のために交換、取り外した部品は当社で引き取らせていただきます。また、修理の際に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■ ご注意
保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外（たとえば業務用）で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の[無料修理規定]をご確認ください。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。（故障時は有償になります。）

LG Electronics Japan 株式会社
〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階